



[財]日本太鼓連盟

NIPPON TAIKO FOUNDATION

会報

発行・編集 2009年 1月

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル 5階

財団法人日本太鼓連盟 理事長 塩見 和子

Tel.03-6229-5577 Fax.03-6229-5580

URL:<http://www.nippon-taiko.or.jp> Email:info@nippon-taiko.or.jp

年頭のごあいさつ



財団法人日本太鼓連盟

会長 まつもと ひであき
松本 英昭

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、穏やかな新春を迎えられたこととお喜び申し上げます。

昨年は、大阪・岡山・香川・徳島の4支部が新たに設立され、現在、41都道府県に45支部、加盟団体800、会員数22,000名を数えるになりました。

また海外での太鼓熱の高まりを表すかのごとく海外交流事業の多かった年でありました。1月には、アメリカとポルトガル、2月にカンボジア、6月ブラジル、12月には台湾公演を実施、3月にはブラジルジュニアチームの招聘、さらに財団が実施した講習会に台湾太鼓協会会員も受講するなど活発に交流事業を実施いたしました。特にブラジルにおいては、6月21日に開催された日本人移民100周年記念式典で1,000人太鼓の演奏が行われました。財団では数年前から指導者を派遣し、本番での成功を期すべく協力してまいりました。式典当日、日本からご臨席の皇太子殿下が見守られる中、長さ500メートルに及ぶ会場に1,200人を上回る打ち手が集結、故小口副会長と渡辺洋一氏が共同で作曲された記念曲「絆」を一糸乱れずに演奏いたしました。加えて演奏の前後に大きな声での挨拶、お礼に会場を埋めた37,000人の観衆から他のどんな出し物をも上回る大きな拍手が寄せられました。この様子はブラジルはもとより日本国内でも多くのニュースで取り上げられ、日本太鼓の普及・振興に役立つことができたものと思っております。

一方、国内においては従来から実施しております「ジュニアコンクール」を石川県白山市で、「チャリティコンサート」を東京都港区で、初の北海道での開催となる「全国フェスティバル」を札幌市で、「全国障害者大会」を皇后陛下の行啓を仰ぎ東京都文京区で、「シニアコンクール」を石川県七尾市でそれぞれ当該支部の協力を得て開催し、多くの方々に日本太鼓の魅力、醍醐味を堪能していただきました。

また演奏技術の向上と後継者の育成を目的とした資格認定制度については全国講習会を3回、支部講習会を4回実施するとともに、教職員を対象とした教職員研修会を12回実施した結果、資格取得者は公認指導員198名、技術認定員6,258名となっております。

このように予定した事業は、それぞれ順調に進捗いたしました。財団にとって大きな衝撃を受ける事態が発生いたしました。財団の設立からその後の運営に大きな役割を果たしてこられた小口副会長が6月に不慮の事故により急逝されました。財団葬として実施した告別式には、日本国内はもとより海外からも1,300人を超える鼓友が参列し、遺徳を偲ぶとともに故人が牽引してきた日本太鼓を世界の太鼓に発展すべく霊前にお誓い申し上げます。

財団の事業が内外において拡大する中、本年2009年においても「全国フェスティバル」、「全国障害者大会」を始めとする演奏会事業や「全国講習会」等の技術普及事業、さらには「海外交流事業」を関係する各支部のご協力を得ながら内容を充実して進めていきたいと考えております。

これら事業の遂行には会員の皆様のご協力が不可欠であり、支部・会員の皆様との連携、協調を図りながら事業運営に当たりたいと思っております。

最後に、2009年が日本太鼓界と会員の皆様にとって良い年になるようご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

皇后陛下のご臨席を賜り 第10回日本太鼓全国障害者大会開催



(出演者にお声をかけられる皇后陛下)

10月5日(日)、第10回日本太鼓全国障害者大会が、東京都の文京シビックホールにて開催されました。

この大会は日本財団の助成事業として行われ、(財)日本太鼓連盟主催、社会福祉法人富岳会共催、東京都支部、関東地区協議会主管のもと、厚生労働省、文化庁、東京都、地元文京区等の後援を賜り実施いたしました。

日本太鼓は、障害者の療育に効用があると言われており、社会福祉法人富岳会(山内令子理事長)は、30年以上前から補助セラピーや自己表現の手段として取り入れてこられました。1998年に富岳会主催により「第1回全国障害者太鼓演奏会」として静岡県御殿場市で開催され、その後より多くの団体にも出演の機会をとの声をいただき、1999年より当財団との共催で、全国大会として実施しております。

記念すべき10回目を迎える今回は、皇后陛下に行啓を賜り、日本太鼓に積極的に取り組んでいる26チーム(405名)が17都道府県より一堂に会し、参加チームは過去最高となりました。

演奏終了後には、皇后陛下より出演者に親しくお声をかけていただきました。優しいお言葉に皆さん大変感激し、一生の思い出になるととても喜んでいました。

初出場は、「桐親会和太鼓クラブ」(東京)、「東京ろう者和太鼓倶楽部『鼓友会』」(東京)、「しらとり太鼓」(茨城)の3チームの皆さんでした。また、「富岳太鼓竜神組」(静岡)、「金谷大井川川越し太鼓チャレンジチーム」(静岡)、「仁寿太鼓」(島根)、「恵那のまつり太鼓」(岐阜)の4チームは10回連続で出場をしています。

各団体の演奏の合間には、障害者の皆さんが太鼓との関わりについて発表し、自身の成長や、チームの変化などを生き生きとした表情で語ってくれました。いずれのチームも日頃の練習の成果を存分に発揮し、演奏レベルも非常に高く、またそれぞれの持ち味を生かした演奏を披露していました。全員が、

何より心から太鼓を楽しんでいる様子が印象的でした。来場者は1,000名を超え、ひたむきな演奏と体験発表に惜しみない拍手を送っていました。

また、会場ロビーには、富岳会の皆さんが描いた素晴らしい絵画が展示され、来場者は熱心に見入っていました。

<出演団体>

出演順26団体

☆は初出場チーム、○は10年連続出場のチーム

- 1 静岡 富岳太鼓 竜神組
- ☆2 東京 桐親会“和太鼓クラブ”
- 3 山梨 甲州ろうあ太鼓
- 4 大阪 豊里学園 和太鼓 鼓粹
- 5 静岡 伊豆医療福祉センター「どんつく」
- 6 富山 鼓友 夢光組
- 7 山口 あそかの園“同朋太鼓”
- 8 大分 糸口太鼓
- 9 長野 和太鼓ちんどん
- 10 静岡 静岡県立静岡北特別支援学校北龍太鼓
- 11 長野 すみれ太鼓
- 12 北海道 のぞみ太鼓
- 13 静岡 静岡ハンディキャップ太鼓の会
- ☆14 東京 東京ろう者和太鼓倶楽部「鼓友会」
- 15 石川 社会福祉法人 南陽園“ふれあい和太鼓”
- 16 愛媛 四国中央いわくら太鼓ろうあ部会「鼓龍会」
- 17 静岡 金谷大井川川越し太鼓チャレンジチーム
- 18 新潟 新潟ろうあ万代太鼓 豊龍会
- 19 岐阜 ファミリーユニット童鼓
- ☆20 茨城 しらとり太鼓
- 21 福島 やまびこ太鼓
- 22 長野 諏訪響太鼓
- 23 福島 一(いず)太鼓
- 24 兵庫 播州ろう者龍姫太鼓集団「鼓鼓呂」
- 25 島根 仁寿太鼓
- 26 岐阜 恵那のまつり太鼓



(公演の最後を飾る恵那のまつり太鼓)

第11回大会は石川県で開催予定

第11回大会は2009年10月18日(日)小松駅前の「こまつ芸術劇場うらら」にて開催を予定しております。詳細は、事務局までお問い合わせ下さい。

体験発表文紹介

第10回日本太鼓全国障害者大会の発表文をご紹介します。今回は初の出場となる「桐親会和太鼓クラブ」(東京)、「東京ろう者和太鼓倶楽部『鼓友会』」(東京)、「しらとり太鼓」(茨城)の3チームの体験発表文を掲載いたしました。(一部抜粋)

桐親会和太鼓クラブ(東京)

みなさん こんにちは。筑波大学付属大塚特別支援学校桐親会和太鼓クラブです。

そしてみなさん、ようこそ東京は文京区にいらっしゃいました。

私たちのクラブや学校は、ここから約10分位のところにある小さな学校です。

東京ドームや後樂園庭園は、お散歩コースでまさに地域の学校であり、その中の桐親会です。

私たちはこの地域で約10年、月に一度、仲間と太鼓を打ち合うことを楽しみに活動しています。

色々な舞台上で演奏し、経験を積んできました。まだまだ修行中ではありますが、今日も気持ちを合わせてうちます。さらに進化した「桐親太鼓」、どうぞお聞き下さい！



(桐親会和太鼓クラブ)

東京ろう者和太鼓倶楽部「鼓友会」(東京)

身体を張って音楽を出す事に無縁のろうの世界から、和太鼓の世界に魅せられて、はや25年。

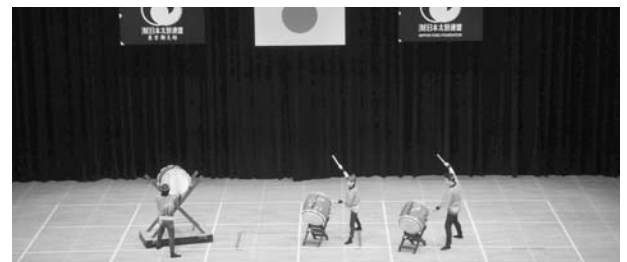
25年前に、ある団体の紹介で大江戸助六太鼓というプロ団体に太鼓を教えてもらうべく、太鼓の稽古場に聴覚障害者が集まった。もっとも、聴覚障害者等は今まで「音楽」を身体で楽しんだ事が少なく????である。教える方も教わる方も我慢強いと思う。

「リズムに乗って、パッパッと切るように打って」とか、「うなるように連打して」とか、「お腹をしぼるように声出して」とか、言われても、今まで体験した事もない感覚をどう掴むか四苦八苦していた。また手話通訳者も大変な苦勞だ。聴覚障害者はあまり音が聞こえないから、音楽には興味がないのかと言えばそうでもない。物凄く興味を持っている。稽古を繰り返すことで「音を掴むことが出来る」事だという。

5年前から地域の夏祭りに聴者のロックバンドと私達の太鼓のコラボで盆太鼓の炭坑節を演奏した

時、ロックバンドの担当から、「ドラムの棒の先の指示を見る事がポイント、テンポの速さは回りの雰囲気と波に合わせて」と、アドバイスされ、一緒にコラボ演奏出来たのも、25年間の積み重ねと大江戸助六太鼓宗家の指導と周りのお陰だと感謝でいっぱい。

さらに太鼓の世界を極め、つき進みたいと楽しみながら現在に至っています。



(東京ろう者和太鼓倶楽部「鼓友会」)

しらとり太鼓(茨城)

僕は近所のお祭りや文化祭、特別養護老人ホームなど多くの場所で太鼓の演奏を披露しています。太鼓を始めたばかりは緊張のあまりドキドキしてうまく叩けませんでした。少しずつ上手に叩けるようになってきています。今までで特に印象に残っている発表は、ハワイで演奏を披露できたことです。演奏後に外国人のお客様から拍手を頂いた時はとても嬉しかったです。特に演奏に出てくる龍にとっても興味を持っていました。また一緒に太鼓を叩き嬉しそうな笑顔を見せてくれました。僕まで笑顔になりました。次に印象に残っている発表はナイスハートフェスティバルです。施設で取り組んでいるよさこいと太鼓、龍や棒龍の組み合わせた発表をしました。太鼓や龍だけではなく、よさこいや棒龍を含めた発表だった為今までにない体験でした。こういった体験をたくさんしてきました。一つ一つの発表が僕の自信に繋がるものだと思います。もっともっと太鼓を上手に叩けるようになります。



(しらとり太鼓)

第5回日本太鼓シニアコンクール全国大会開催

～文部科学大臣賞を目指して、全国より22組77名が参加～

11月23日(日)、石川県七尾市(七尾市和倉温泉観光会館)において「第5回日本太鼓シニアコンクール」が開催されました。この大会は、60歳以上のシニア層を対象として近年の激しく速い太鼓と違って味わい深い演奏を披露するとともに、熟練した太鼓技術を後進に引継ぐことを目指して実施したものです。

5回目を迎える今年は、10都県より22組77名が参加し、栄えある名人位・文部科学大臣賞を手にしたのは高沢正一氏(七尾豊年太鼓保存会・石川県)でした。お客様は、長年培われた深みのある演奏に魅了されています。また同日ジュニアコンクールの石川県予選大会も開催され、参加した子供たちも大会を見学しました。

〈結果〉 (敬称略)

名人位 高沢 正一(七尾豊年太鼓保存会・石川)

準名人 東出 南弥子(共栄太鼓風雅・石川)
河合 陸夫(越中いさみ太鼓保存会・富山)
北村 喜昌(加賀太鼓保存会・石川)
林 敏三(福光もちつき太鼓保存会・富山)

特別賞 山本 和人(加賀太鼓保存会・石川)
坂野 柁男(尾張新次郎太鼓・愛知)
美濃小倉太鼓(グループ・岐阜)
岩城 正治(加賀太鼓保存会・石川)
今井 冽(山鹿太鼓保存会・熊本)
助六太鼓保存会(グループ・東京)
和田 昭男(九谷太鼓保存会・石川)



(名人位 高沢正一氏：向かって左側)



(表彰式)

審査委員

浅野 義幸(株)浅野太鼓楽器店17代当主)

池田 庄作(北陸三県太鼓協会会長)

江頭 啓輔(三菱ふそうトラック・バス(株)
代表取締役会長)

木越 治(金沢大学文学部教授
(社)石川県太鼓連盟理事長)

塩見 和子(審査委員長・財団理事長)

長谷川 義(全九州太鼓連合会長)

福光松太郎(株式会社福光屋社長)

(五十音順・敬称略)

第6回大会は、石川県津幡町で開催予定

第6回日本太鼓シニアコンクールは、2009年11月22日(日)石川県津幡町・文化会館「シグナス」において開催を予定しております。

紀内前会長が瑞宝重光賞を受章

当財団の前会長である紀内隆宏氏が、秋の叙勲で瑞宝重光章を受章されました。これは、永年の自治行政の功労を高く評価されたものです。心よりお祝い申し上げます。

松本源之助氏が東京都の名誉都民に選定される

当財団の評議員であり、東京都支部長でもある松本源之助氏が、平成20年度の名誉都民に選定されました。これは、永年にわたる江戸里神楽の継承に尽力するとともに、現代音楽や演劇などの要素を取り入れ海外公演を積極的に行うなどの伝統芸能の普及発展に多大な貢献をされたことを高く評価されたものです。心よりお祝い申し上げます。

塩見理事長がベルギー王国より勲章を受章

当財団の塩見理事長が、ベルギー王国より王冠勲章コマンドール章(Commander of the Order of the Crown)を受章しました。心よりお祝い申し上げます。

長野で全国講習会、埼玉・三重で支部講習会を開催



(開会式で挨拶をする古屋支部長)

＜第33回日本太鼓全国講習会(長野)＞

11月8・9日(土日)、長野県支部主管の全国講習会を、安曇野市堀金総合体育館(長野県安曇野市)にて実施いたしました。地元長野県をはじめ、全国17府県から137名が受講しました。

開会式は、財団を代表して塩見理事長、長野県支部を代表して古屋支部長、地元安曇野市より平林市長、宮沢長野県県会議員からそれぞれ励ましと歓迎の挨拶があり、講習会がスタートしました。

閉会式では、受講生達は2日間の成果を力一杯披露していました。

なお、今回は障害がある受講生4名が5級基本講座に、1名が専門講座にチャレンジし、全員合格しました。

○専門講座 講師

締太鼓講座 渡辺 洋一氏
尾張新次郎太鼓講座 安井 富氏
八丈太鼓講座 菊池 修氏

○基本講座 講師

総合指導 古屋 邦夫氏
3級基本講座 安江 信寿氏
4級基本講座 若山 雷門氏
5級基本講座 松枝 明美氏

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

1級検定 10名受験 2名認定(7名合格)
2級検定 11名受験 2名認定(7名合格)
3級検定 7名受験 5名合格
4級検定 9名受験 8名合格
5級検定 79名受験 79名合格

＜第42回日本太鼓支部講習会(三重)＞

11月15・16日(土日)、三重県支部主催による初の支部講習会がロワジュールホテル四日市にて行われ、3級・4級・5級基本講座に地元三重県をはじめ89名が参加しました。開会式は、中田支部長の挨拶で始まり、2日間にわたる講習会が始まりました。三重で初めての講習会に、受講生は張り切ってバチをふっていました。

○基本講座 講師

総合指導 古屋 邦夫氏
3級基本講座 松枝 明美氏
4級基本講座 若山 雷門氏
5級基本講座 渡辺 洋一氏



(開会式で挨拶をする高野支部長)

＜第41回日本太鼓支部講習会(埼玉)＞

10月25・26日(土日)、埼玉県支部主催による支部講習会がヌエック(国立女性教育会館・埼玉県嵐山町)で行われ、4級・5級基本講座に地元埼玉県をはじめ39名が参加しました。開会式は、高野支部長の挨拶で始まり、2日間にわたる講習会がスタートしました。紅葉が始まる嵐山町で受講生は元氣いっぱい太鼓を叩いていました。

○基本講座 講師

総合指導 古屋 邦夫氏
4級基本講座 松枝 明美氏
5級基本講座 渡辺 洋一氏

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

4級検定 7名受験 7名合格
5級検定 19名受験 19名合格

*2008年12月末現在の認定者数

	公認指導員	技術認定員
特	1	—
1	40	76
2	46	157
3	111	631
4	—	1,220
5	—	4,193
計	198	6,277
合計	6,475	

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

3級検定 9名受験 7名合格
4級検定 18名受験 18名合格
5級検定 61名受験 61名合格



(5級基本講座の様子)

***初の支部講習会を開催した三重県支部中田支部長よりご寄稿いただきましたのでご紹介します。**

先ず、財団本部並びに講師、補助講師の先生方に変お世話になりました。ありがとうございます。

また、本講習会に参加頂きました受講生の皆様お疲れ様でした。

講習会は疾風の如くあっという間に両日が過ぎてしまったという感があり、開催前まであれやこれや考えすぎていたところもありました。

今回は当県の四日市の駅前を主会場に開催しました。これは三重県が南北に長いこと、近隣県とのアクセスを考えた時に受講生の皆さんに受講頂きやすい所で、そして開催地の四日市、県内、近隣県にも子どもから大人までたくさん太鼓に関わって居ますので費用負担面でも少しでも近いところで、受講生の交流の場としてまたこの講習会の趣旨を知って少しでも技術向上のためになればという思いからでした。

結果的に見れば開催して良かったと感じておりますが、具体的に分析すれば開催地や県内の受講者が比較的少なく、県外からの受講者の皆さんによって成立出来たという面も否めない事実でした。この事は各県支部が如何に積極的に講習会に取り組んでい

るか、その必要性を知っているからこそ当県講習会に足を運んで頂いたのではと考えております。一歩ずつ歩みを進めていくことの必要性をあらためて実感した講習会となりました。

最後に当三重県支部では来年度にも日本太鼓支部講習会を県庁所在地の津市での開催に向け取り組んでおります。是非、三重県へお越しく下さい、お待ち申し上げます。



(開会式で挨拶をする中田支部長)

台湾日本太鼓公演

～台湾太鼓協会設立1周年を記念して～

12月1日から8日にかけて台湾に、「豊の国ゆふいん源流太鼓」(大分)を派遣しました。これは、昨年発足した台湾太鼓協会が1周年を迎えるにあたり、日本を代表するチームと台湾の太鼓チームによる記念公演を行いたいとの依頼があり、実現したものです。今回は、台北、台中、高雄で計5回の公演を行いました。

台湾チームは1年前に訪問した際に見学した演奏に比べ、信じられないほど技術が上がっており、昨年度に実施した太鼓公演をきっかけに長谷川代表が何度も台湾を訪問してボランティアとして指導された成果が早くも表れていると実感いたしました。

今回の公演の中でも一番の盛り上がりを見せたのは、台北市郊外の「新莊市文化中心」で行われた公演でした。入場券は早くから完売となり、多くの方が入場できないほどの盛況で、当日は立ち見や階段で見学する人で溢れるほどでした。

全ての公演での観客動員総数は4,500人を超え、いずれの公演でも盛大な拍手が演奏者に送られ、公演の成功を物語っていました。

滞在中に台湾太鼓協会の王理事長より来年度の事業について協力の要請があり、来年も講習会とフェスティバルを開催したいとの抱負を熱く語っていたのが印象的でした。



(高雄日本人学校での演奏)



(台中・天祥太鼓の演奏)

紙面の都合上、台湾太鼓公演関連の記事は、引き続き次号(4月発行)で掲載させていただきます。

銚子はね太鼓モロッコへ行く

銚子はね太鼓 越川昭一氏よりご寄稿いただきました。

銚子はね太鼓保存会(千葉)の初のアフリカ大陸公演は、駐日モロッコ王国全権大使の紹介で、モロッコ王国オリエンタル県知事の招待を受けて実現しました。昨年、モロッコ王国大使が銚子市に来られたとき、「はね太鼓」をご覧になり「この太鼓をモロッコの民衆に見せてあげたい。自分の生まれた地域(ウジダ市)で披露願いたい。」との言葉をいただき、その言葉に応えたい一心で練習を重ねてまいりました。

モロッコ王国は、アフリカ大陸の北西端に位置し、大西洋からの地中海への玄関口にあたります。成田からパリ経由でカサブランカ国際空港へ到着、さらに国内線でウジダ空港まで、待ち時間を含めると丸一日掛かります。

公演は、5日間連日場所を変え、学生や一般人を対象として学校や1,000名収容の劇場、そして多くの人が行き交う広場などで行いました。

篠笛でのモロッコ国歌そして初切太鼓、1曲終わると同時に大きな拍手と声援が鳴り響きました。気持ちを込め練習して来たことが受け入れてもらえた瞬間でした。盛大な声援は、打ち手の大きな自信となり、その表現力を飛躍的に育ててくれました。また、太鼓の体験では、初めて太鼓を叩く方の為に、観客の手拍子と笑顔が会場を包み込みました。最後は「はね太鼓」。渾身の力を込めて太鼓を打ち、はね、回り、観客の目の前では寝かせ打ち。その瞬間、会場の空気が変わるほどの、拍手と歓声が「ドッ」と体に突き刺さってきました。演奏が終わり頭を上げた時、目前には立ち上がり、笑顔と大きな拍手と声援で迎え入れてくれる人達がありました。拍手が鳴り止まず、段々と波のように大きな音になり、アフリカの民衆のパワーを深く感じました。

ウジダ市での最終公演の後、招待して下さったオリエンタル県知事と面会し、感謝の言葉をいただきました。また、モロッコの民衆が、日本人を尊敬していることを聞きました。「戦争で何も無くなったところから、世界有数の経済大国となったその努力と工夫は素晴らしい。見習わなければならない。」と。ウジダ市は、大学や街区が新設されこれからどんどん大きくなろうとしていました。

駐日大使は、モロッコの人々に太鼓を見せたかったのと同時に、私たちを通して、モロッコの人が日本を尊敬していることを、日本人に知ってもらいたかったのだと感じました。両国の親善を願う大使の寛大さに改めて感謝しました。

最終日は、財団法人日本太鼓連盟の紹介を受け、首都ラバトの日本大使館へ向かい、広瀬日本大使に今回の報告と民衆から声援を受けた演奏を披露することができました。「太鼓」により伝えた日本の感動と、受け入れてくれたモロッコ王国の民衆の感情を伝え、今後の国際交流に寄与していただきたいとお伝えいたしました。



(オリエンタル県知事と一緒に)

事務局だより

講習会のお知らせ

第34回日本太鼓全国講習会(佐賀県佐賀市)

期 日：2009年2月7・8日(土日)

主 管：全九州太鼓連合、(財)日本太鼓連盟佐賀県支部

会 場：佐賀県総合体育館(佐賀市日の出1丁目21番15号)

講 座：専門講座 大太鼓講座(単式単打法) 渡辺 洋一氏(東京都)※先着20名

助六太鼓講座(単式複打法) 今泉 豊氏(東京都)

源流太鼓講座(複式複打法) 長谷川 義氏(大分県)

基本講座 総合指導 古屋 邦夫氏(技術委員会委員長)

3級基本講座 安江 信寿氏(1級公認指導員)

4級基本講座 若山 雷門氏(1級公認指導員)

5級基本講座 松枝 明美氏(1級公認指導員)

申込先：(財)日本太鼓連盟佐賀県支部 〒840-0201 佐賀県佐賀市大和町尼寺1210-12

事務局長 八木一彦 Tel.090-3197-7575 Fax.0952-62-4668

第43回日本太鼓支部講習会(東京都港区)

期 日：2009年3月14・15日(土日)

会 場：日本財団ビル(東京都港区赤坂1-2-2)

講 座：3・4・5級基本講座

申込先：(財)日本太鼓連盟東京都支部 〒177-0035 東京都練馬区南田中5-9-11-101

Tel.03-3904-1745 Fax.03-3904-9434

ジュニアコンクール出場団体決定 (31都道府県41チーム)

名称：総務大臣杯・文部科学大臣賞 第11回日本太鼓ジュニアコンクール
期日：2009年3月22日(日) 開場10:30 開演11:00 閉会式終了予定19:00(前日リハーサル)
会場：アクトシティ浜松(浜松市中区板屋町111-1) Tel.053-451-1111
入場料：前売券2,000円 当日券2,500円

第11回大会は、各都道府県の支部予選で優勝したチーム等が一堂に会し、これまで以上の熱演が予想されます。出場者には、お互いを思いやり、礼節を重んじ、ジュニアらしく真摯で元気ある演奏を期待しております。

出場団体：

しべつとどわら太鼓保存会(道東)、厚別本陣はまなす太鼓(道央)、ほろむい太鼓同志会(道西)、颯太鼓(道南)、岩手県立大船渡東高等学校太鼓部(岩手)、高倉薬太鼓(宮城)、大館曲げわっぱ太鼓ジュニア「若杉」(秋田)、岩代國郡山うねめ太鼓保存会小若組(福島)、下館若囃太鼓会(茨城)、和太鼓キッズゆりかご(栃木)、上州榛東ふるさと太鼓(群馬)、乾武神流川太鼓(埼玉)、のさか太鼓(千葉)、邦楽アカデミー和太鼓大元組ジュニア(東京)、秦野観光和太鼓(神奈川)、越中いさみ太鼓保存会龍虎(富山)、輪島・和太鼓虎之介(石川)、手取亢龍若鮎組(石川)、九谷太鼓若獅子組(石川)、甲斐和太鼓衆信玄太鼓・飛竜(山梨)、信濃国松川響岳太鼓子供会(長野)、明宝磨墨太鼓保存会(岐阜)、天城連峰太鼓(静岡)、田子海太鼓(静岡)、五竜太鼓保存会(静岡)、三河神富太鼓(愛知)、津・高虎太鼓(三重)、大和の響き・京(京都)、金光藤蔭高等学校和太鼓部「鼓響」(大阪)、豊岡こうのとり太鼓(兵庫)、掛合太鼓ジュニア(島根)、二丈絆太鼓「恬」(福岡)、不知火太鼓(佐賀)、おおむら太鼓連くじら太鼓(長崎)、熊本市立必由館高等学校和太鼓部(熊本)、人吉ねぶか太鼓(熊本)、ZENKAI少年太鼓「和」(大分)、華太鼓かんなの会「ふじ組」(宮崎)、太鼓研修センター「響」(宮崎)、山川ツマベニ少年太鼓(鹿児島)、霧島九面太鼓保存会郷花(鹿児島) (順不同)

* これまでは21チームを超える場合(同一団体から複数参加した場合は1チームとみなす)は、2チームが出場できましたが、さらにこの度の参加要項の改定により31チームを超える場合は3チームが出場できることとなりました。これにより石川県支部から3チームが参加します。また、大会開催地の静岡県支部は、参加規程の変更により3チームが参加します。なお、今回不参加の支部は北海道道北、青森、山形、新潟、福井、奈良、岡山、広島、鳥取、香川、徳島の11支部です。

* なお、予選は30支部で行われ、参加団体は331チーム3,600人を超えました。

特別出演：橘太鼓「響座」ジュニア(宮崎・第10回日本太鼓ジュニアコンクール優勝チーム)

ジャーレス轟太鼓(2008年度第5回全ブラジル太鼓選手権大会優勝チーム)

2009年度の予定

全国講習会

2009年6月13・14日(土日) 神戸市セミナーハウス(兵庫県神戸市)

2009年11月7・8日(土日) 氷見市ふれあいスポーツセンター(富山県氷見市)

2010年2月6・7日(土日) 鹿児島(会場未定)

支部講習会：岩手、三重等で予定していますが、詳細が決定次第、随時お知らせいたします。

日本太鼓チャリティコンサート：2009年6月5日(金)草月ホール(東京都港区)

第13回日本太鼓全国フェスティバル：2009年9月6日(日)B-Con Plaza(大分県別府市)

第11回日本太鼓全国障害者大会：2009年10月18日(日)こまつ芸術劇場うらら(石川県小松市)

第6回日本太鼓シニアコンクール：2009年11月22日(日)津幡町文化会館シグナス(石川県津幡町)

第12回日本太鼓ジュニアコンクール：2010年3月21日(日)大宮ソニックシティ(埼玉県さいたま市)

公認指導員更新研修会：

* 2009年度は公認指導員の3年に1度となる更新研修会が開催されます。公認指導員の資格をお持ちの方は全員が対象となり、この更新研修会を欠席されますと、資格が失効しますのでご注意ください。開催内容の詳細が確定次第該当者にご連絡申し上げます。